

宮一商店街広報紙・まちづくりニュース

No.11

2005.4.1

発行 宮一商店街サミット
事務局 さいたま市大宮区宮町1-91
(大沼ビル3F)
TEL・FAX 648-7454

ザ・しょうてん in おおみや

ホームページ <http://e-oomiya.jp/>

商店街だより

大宮銀座商店街

理事長 堀口直人

「将来最も有効な形にするには？4月には2回説明会があります。商店街の皆様の積極的な参加と活発なご意見・質問を期待します！」
次回は、大宮一番街商店街。

この号では、三月十七日に催されたアーケード説明会について御報告させていただきます。昨年五月の総会決議を受けて、副委員長の下、アーケード委員会も半年以上の会議を重ね、ようやく両案（撤去後モール化する、撤去後新設する）についての大きな費用も算出できましたので商店街の皆様にご説明し、どちらに決めるか最終アンケートの参考にして頂きたいと考える次第です。パイオランドホテル2階会議室で午後2時から一時間程

二案決定前の重要な説明会です！

問題解決が急がれる所以です。かなりの規模の地震に遭遇しても安心していられる街路に早く我が商店街を造り変えておかねばなりません。アーケード問題解決が急がれる所以です。

それにして旧年度は、各地に災害が多かったですね。締めくくりには北九州の大地震まで起きてしまいました。この地域はいつまでも大丈夫なのだろうか？心配すると、底知れぬ不安が募ります。

アーケード説明会の報告

自然災害にも強い商店街づくり

長かった冬も去り、春たけなわとなりましたが、皆様如何お過ごしですか？新しい年度を迎え、色々と計画を練られている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

開かれました。役員を除くと約二十五名の方の出席がありました。日本街路灯(株)の高田氏に両案の図面と見積資料を提示しながら説明して頂きました。どちらに決まっても多額の費用を必要としますので、国や市からの補助金の受け方についても説明して頂きました。初めて資料を見る方も多かったせいか、説明終了後の質問者は2、3名にとどまりました。四月には二回説明会を開きますので、今回聞き漏らした方は是非ご出席を。又、今回出られた方も資料をじっくり検討され、役員側がたじたじとなるような質問を数多く発して頂く事を期待致します。

私達の手で間違いのない商店街づくりを!!



イメージです、参考まで。



学習したポイントを反映させたい(イメージ)

芝浦工業大学まちづくり報告

斬新な発想の中にも現実的なアイデアを模索する!!

2005年3月14日(月)に、芝浦工業大学システム工学部環境システム学科学部生、大学院生の成果発表会、「まちづくりへの提言 学生と宮一サミットのコラボレーション2004」が開催されました。正和アネックスをお借りし、名簿にお名前を記していただいた方が23名、全体では30名強の方々が参加してくださいました。

まず最初は、「商店街における情報発信と広報活動のあり方に関する研究」について桑田研究室近一志君が発表を行いました。埼玉県下300を超える商店街に対して広報活動についてのアンケートを行い、広報誌、ホームページ、商店街マップについての長所・短所と、それらと発信すべき情報との組み合わせを提案しました。

次に、衣袋研究室陣内徹君が、「中心市街地活性化のための商業空間の在り方に関する研究」を発表しました。設計提案として低層部分にオープンスペースを設け、高層部に居住すること、通りに面した商店の2階部分をデッキでつなぎ回遊性を持たせるなどのアイデアが披露されました。



学生の発表に熱心に聞き入る地元の皆さん。

最後に、衣袋研究室渡辺展名さんが、「商店街活性化のためのアーケードの在り方に関する研究」について発表しました。大宮銀座通りを対象として、アンケートなどを通じた商店街関係者の意向を踏まえ、1車線化して歩行者空間を確保し、アーケードを2層化するなどの提案が高く評価されました。

それぞれの発表後、商店街の方々からは鋭い質問や温かい感想をいただき、

学生と宮一サミットのコラボレーション2004
(2005年3月14日)

発表会の報告

(文責：芝浦工大 桑田仁)

活発な議論がなされました。今後とも、商店街の皆さんとのコラボレーションを続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、ご協力・ご出席いただいた皆様にお礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。

パネルの展示にも興味深い内容が沢山です。

